

## 令和5年度「環境にやさしい作戦」推進活動（内容）

豊中市伊丹市クリーンランドでは、循環型社会の構築に向けて事業活動の中で環境負荷の低減や環境に配慮した取組み・活動を「環境にやさしい作戦」行動として、職場全体で推進しています。

今年度の重点的な取組みは、マイカップ・マイボトルの使用を推進するため、ペットボトル回収量や排出状態等の調査、達成度評価による行動の振り返りや雑がみ分別調査、分別強化月間の取組み等を行った。また節電・節水の取組みとして関係各所に啓発 POP を貼り出し職員の取組み意識向上を図った。

### 1. 職員の実践行動

「3Rの推進」や「ごみの分別」・「省エネの推進」など環境に配慮した行動を進めるため、具体的な行動目標や取組み項目を掲げて職員一人ひとりが実践を通して、四半期毎に行動の振り返りとその達成度評価を行い、意識の向上と更なる活動の促進に取り組みました。

<行動目標>

- ① クリーンランド全体の統一目標：「ごみの発生抑制と分別の徹底、節電・節水による省エネに取り組む」
- ② 各課の目標

所 属 名	年 間 行 動 目 標
総務課	極力電子データを活用し、さらなるペーパーレス化を進めます。
再資源・搬入課	来場者への安全確保ときれいな職場環境を提供するため、4S（整理・整頓・清潔・清掃）に取り組みます。
施設課	使用していない部屋の照明や不使用の電気機器類等は、消灯及び電源を切ります。
管理課	使用していない部屋の照明や不使用の電気機器類等は、消灯及び電源を切ります。

<33の行動指針>

令和5年度における「3つの宣言と33の行動指針」の取組み項目を実践（行動指針は別紙に掲載）

◎ <2つの取組み行動>を四半期ごとに自己評価しており、職員の達成度は着実に上昇しています。今後も継続していきます。

### 2. 環境イベントや施設見学・出前講座等を通して、市民との交流と3R行動等の周知を実施

<両市への参加イベント>

- ・伊丹市シルバーフェスティバル（9/17,18） ・とよっぴーフェスタ（10/21）
- ・とよなか市民環境展（11/17,18）

<クリーンランドでのイベント>

- ・ジョイントひろば（第3回開催：5/21）（第4回開催：10/22）

### 3. 職員研修の実施

環境配慮行動の推進に向けて、職員の意識向上と実践行動につなげることを目的に令和5年度も年間2回の職員研修を行いました。

＜第1回：6月 研修テーマ：「環境にやさしい作戦の活動について」＞

＜第2回：12月 研修テーマ：「SDGs 満載のホテル 最新のサステナブルな取り組みとは」他＞

- ◎ ＜環境配慮行動の研修＞ ごみの減量や分別の重要性等について環境配慮活動に対する周知を行った。また、SDGsの最新の取り組みや豊中市の新しい分別について学習を行った。

### 4. ごみの分別調査の実施：紙類の分別調査を四半期毎に年4回実施。

- ・内容：事務室内外の雑がみ（コピー用紙含む）分別調査を行った。今年度の紙の分別平均適正率は「89%」で、前年度比較で「-5%」だった。雑がみの分別は高い分別適正率であるが、前年度と比較すると少し下降気味になっているので、引き続き分別を意識していただきたい。

◎ 雑がみに関しても可燃ごみで捨ててしまわないように周知していく。

### 5. 分別強化月間の取り組み：11月に「ごみの減量」をテーマに標語を職員から募集

内容：職場内でごみの分別について考える機会を設け、職場全体で3Rに取り組んでいく気運を高めるとともに、職員一人ひとりの実践行動を促すため、職員参加型の企画を提案し、分別（環境配慮活動）の更なる意識向上につなげることを目的とした。

◎ ＜分別強化月間＞職員から多数の標語の応募をいただき、職員参加率は90%となった。職員一人ひとりが参加し分別強化月間の取り組みを行うことで、分別意識の向上を促した。

### 6. 分別推進者の活動：各課1人（管理課のみ2人）の推進者が毎月2回、回収箱を点検。

・今年度も「雑がみ、片面使用済み用紙」の調査を行った。輪番で多くの職員が分別推進者になることで、雑がみに対する取り組みの全体化が図られてきた。

◎ 推進者として意欲的に活動することで、分別の現状を把握し職場環境改善の担い手となった。今年度も概ね良好な調査結果であった。

### 7. 分別迷い箱の設置と調査：食堂と6階、7階事務室前に「分別迷い箱」を設置し、分別に迷ったごみを廃棄していただく。

◎ PTメンバーと事務局で調査し、正しい分別方法を職員研修時に周知した。

### 8. ペットボトルの使用状況調査と計量：食堂、6階、7階のペットボトルの使用状況を回収量で「見える化」し、運搬回数や分別状況を調査し、公表した。

◎ 前年よりは排出量は減少している。分別状況では、汚れたペットボトルや水切り不足のものなどが稀に見受けられる。ペットボトルの排出方法は、掲示等で周知しているので注意して排出していただきたい。